

大学院修士課程入学試験問題における出題過誤について

平成 19 年 8 月 24 日

平成 20 年度大学院修士課程入学試験大学院理工学研究科化学工学専攻の専門科目に出題過誤がありました。

受験者の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしました。誠に申し訳ございません。お詫び申し上げます。

当該問題は、平成 19 年 8 月 21 日（火）13:30～16:00 に実施された中の設問[4]の(2)で、誤りは下記の下線部分です。

（誤）

(2) 図1の(B)で囲まれた部分についての全物質収支および低沸点成分に関する物質収支より、還流比 $R(=\underline{D/L})$ を用いた濃縮部の操作線の式を求めよ。

（正）

(2) 図1の(B)で囲まれた部分についての全物質収支および低沸点成分に関する物質収支より、還流比 $R(=L/D)$ を用いた濃縮部の操作線の式を求めよ。

この出題ミスにより、解答が不能になります(3)、(5)および(6)については採点から除外することとし、小問(2)と独立な小問(1)と(4)については採点を行いました。また、小問(2)については、還流比を $R=L/D$ として解答した場合でも、 $R=D/L$ として解答した場合でも正解として採点し、このことで受験生に対して不利益が生じないように最大限配慮しました。

なお、小問(3)、(5)および(6)を受験者全員が正解とした場合でも、前述の場合でも専門科目の順位判定には影響ありませんでした。